

生き抜く力 No.16

2025 一般社団法人NTSセーフティ家計総合研究所

今回の生き抜く力では、前号でご紹介した「金融リテラシー」を構築する上で必要となる「ネットリテラシー」と「調べる力」について、昨今の事例を踏まえ、当法人上席研究員の吉元よりお伝えいたします。

また、当法人が本年4月から新たに受託した「福祉総合相談事業等業務」について、推進・展開する事業内容やその取り組み体制等について記載しました。本事業を通じて、微力ではありますが社会課題の解決につながるよう、努めてまいりたいと考えます。

金融リテラシーの構築に必要な ネットリテラシーと「調べる力」

上席研究員 博士（法学） 吉元利行

■特殊詐欺の被害が急増

前回（No.15）の本欄では、今後のキャッシュレス決済の拡大を見据えて、生活防衛のためには、キャッシュレス時代にふさわしい「金融リテラシー」を身に着けることが必要ということで、注意すべきポイントも含めて、紹介しました。

ところが、最近の社会現象を見ると「金融リテラシー」の前に、「ネットリテラシー」と「調べる力」が不足している人があまりに多いと感じています。その最大の理由が、ネットを通じた「闇バイト」に安易に応募して、犯罪に手を染め、逮捕され、お金を稼ぐどころか、刑罰を受け、その後就職や社会生活が制限され、お金の苦勞する可能性が極めて高くなるなど、一生を棒に振る人があまりに多いからです。また、SNS型投資詐欺やロマンス詐欺を中心に、特殊詐欺案件が昨年2万987件（前年比10.2%増）発生し、被害額は約722億円（同59.4%増）と過去最多の被害が発生（警察庁発表）していることにも驚きました。

犯罪に「闇バイト」という形で加わる「加害者」はもちろん、ロマンス詐欺等の被害者も騙されて多額の金銭的被害を受け、その後の生活に苦勞することになり、いずれにしても不幸な一生を送ることになりかねません。

■騙されないための最低限の注意

したがって、加害者にも、被害者にもならないためには、メールやメッセージアプリ等を通じた非対面の詐欺師に騙されないためのネットリテラシーが最低限必要になります。

例えば、犯罪タイプ別に以下の点に注意が必要です。

【ロマンス詐欺】

- ① 会ったことがない相手には、会う前にLINEやメールアドレス、携帯電話番号などの個人情報教えるのを避ける。
- ② リアルに会ったこともないのに、「結婚しよう」や「運命の人」と言ってくる人には、注意する。
- ③ SNSのプロフィールや写真を安易に信じない。

【SNS 型投資詐欺】

- ① 「儲かる特別な情報がある」などといって、投資や購入を進める人の言葉や儲かっている他人の言葉や示されるデータは、裏付けのない限り、信じない。
- ② 儲かっているとして、SNS などに挙げられる高級車や宝飾品、マンションなどはレンタルや他人の写真ではないという証拠（登記簿謄本、登録事項証明書等）がない限り信じない。
- ③ 投資する組織の金融商品取引法等の登録番号や金融庁の処分情報などを確認する。

【闇バイト】

- ① 有名なバイト募集サイトであったとしても、会ったこともなく、詳しい仕事内容や募集要項が明確でない時点で、履歴書や運転免許証などの身元が分かる書類等を送らない。
- ② 「短期間で高収入」「日給 5 万円から」「コールセンターでの仕事です。スクリプト通りに話すだけ」といった簡単な業務と説明する一方で、高給を出すという勧誘文句は信じない。
- ③ 申込前に、仕事をする会社や組織の有無、連絡先などネットでの風評等のチェックを行う。チェックできないなら、申し込まない。

■AI に騙されている

騙される人は、家族や友人に相談することなく、安易に先方の言葉を鵜呑みにしていることがうかがわれます。しかし、なぜ、簡単に騙されているのか、不思議に思う人が多いのではないかと思います。

実は、騙された人は、メールやメッセージの巧みな表現、ビデオ通話での相手の画像と音声などから総合的に「嘘ではない」と判断しているのです。なぜなら、人は、文章と一緒に写真を見せられたり、繰り返し言われたりすると、それがあたかも正解であるかのように誤解してしまうという性質（「認知力の儉約」という）を持っているといわれており、その性質を利用した詐欺が

行われているのです。

今では、特定の人の情報、どんな分野に興味があるか、好きなタレントは誰か、どういう学歴や職歴かなど、SNS のプロフィール欄に自ら記載した内容や投稿した内容を簡単に収集することができます。そのような情報を AI を利用して分析し、募集のメッセージ文面や勧誘、問いかけの文書が簡単に作れるだけでなく、ネット上に出回っている好きなタレントや著名人の Facebook の写真やインスタグラムなどの動画を取り込んで、自分の動画に上乘せして、あたかも当該人が語りかけているように音声と動画を使って成りすますのは朝飯前の時代なのです。

したがって、画像や勧誘による「真実っぽさ」に惑わされることなく、慎重に内容を確認することが必要なのです。

■認知力を儉約すべきでないとき

「認知力の儉約」を利用するものには、テレビのコマーシャルやネットのポップアップ広告などもあります。スーパーなどで、広告でよく見たことのある商品が無意識に購入している人は認知力の儉約家なのです。

しかし、初めての商品を購入するときは、食品であれば、原料、原産地名、内容量、消費期限／賞味期限、保存方法、原産国名（輸入品のみ）を確かめてから購入するかどうか決めていく人が多いかと思います。

同様に、アルバイト先を選ぶのに、すでによく知っているチェーン店等なら、認知力の儉約をして調査しなくてもいいですが、聞いたことがない会社名や募集先なら、所在地、業種や事業内容、資本金、売上規模、仕事の内容、時給などを調べるべきです。

そして、ブラック企業ではないか、働いている人の評判はどうかなどをネットで簡単に調べられます。仕事やアルバイトを選ぶときには、スーパーでモノを買う時と同じように高いか安いかで選ぶのではなく、仕事の内容を吟味することが大切なのです。

■楽しんでお金は稼げない

闇バイトに応募する人は、若年層だけでなく、高齢者や主婦層などにも拡大しているようです。よく考えもせずに、応募している動機の背景には、「お金に困っている」ことに加え、「楽にお金を稼げる」と期待していることがあげられます。確かに、誰でも楽にお金は稼ぎたいです。しかし、それが簡単ではないことも知っているはずですが。

本当に楽しんで稼げるのか、「きちんと調べる、考える」という習慣があれば、なぜ、自分がそうできるのか、才能や技術、役割などどんな資格に対してお金が与えられるのか」という点について、分析することができれば、騙されることはありません。仕事内容と自分独自の資格、能力、技術、経験などがマッチして、高い評価を受けているのであれば問題ありませんが、誰でも出来る簡単な仕事に高給が払われるはずはありません。そこに、何らかの理由があり、潜在的なリスクがあるのです。

■資金の補填方法と情報リテラシー

お金が必要なら、リスクを避けてどうお金を調達するか、「お金に困っている」状態をどう解消すべきなのかを、考える必要があります。

不足する家計への資金補填方法には、様々な方法がありますが、第一に一人で抱えこまないで、「家族に相談」してみることです。家族なら、無利子でお金を都合してくれたり、いろいろ相談に乗ってもらえます。

第二に、自治体や社会福祉協議会などの融資がないか、生活支援制度、家賃補助制度や返済不要の制度などはないか調べてみることです。例えば、自治体の生活困窮者に対する生活福祉資金の貸付制度、住居確保給付金、就労準備支援、家計改善支援、子供の学習・生活支援などの制度があり、生活困窮者でなくとも、定住促進補助金、事故や災害に伴う災害共済給付金、災害弔慰金、災害援護金、基礎支援金、加算支援金など様々な制度が活用できるかもしれません。

第三に、国の教育ローン、生命保険の貸付制度などの低利の貸付制度が利用できないかと調査すべきです。どのような資格があれば低利の貸付制度を利用できるのか、返済条件などを比較

検討し、銀行などのローンも併用した資金調達を検討することです。

第四に、資金調達する目的が明確なら、銀行やクレジットカード会社等からの目的ローンの利用が考えられます。台所や浴室などのリフォームや家電製品などの購入には、調査すれば、クレジットカード会社を利用しても、1~3%前後のローンも見つけることができます。

以上の資金調達がどうしてもできないときには、一般のローンを利用するしかありませんが、1~2 か月程度の短期の資金調達なら、銀行やクレジットカード会社、消費者金融会社の貸付の金利負担も大きくありません。初めての借入なら一定期間無金利のサービスを利用したり、確実に返せる時期を確認し、貸付金利や返済方法などを調べて、予定借入期間・返済期間にどれだけ金利負担があるのかを知ったうえで、利用することが肝心です。

くれぐれも、貸金業の無登録業者やショッピング枠の現金化業者を利用しないことです。金融庁の貸金業者の確認ページや「現金化」で手口を確認しましょう。

■まとめに代えて

人生は、大きく分けて「幼年期」「青年期」「中年期」「老年期」に分けられます。「幼年期」は、親に生活を見てももらい、育ててもらいますが、以降は、自身で生活設計を行う必要があります。中年期になり、配偶者や子供ができれば、生活費や養育費、教育費の支出が増えて、大多数の方の毎月の家計はマイナスになることが想定されます。

その時期の資金不足をどのように補っていくか、また、生涯を通じた家計管理が必要ですが、その際に必要となる金融リテラシーを身に付ける基礎として、金融商品の内容や貸付制度を理解・分析、評価することが必要です。その前提として、ネットを利用して情報を収集するなど、なんでも「調べる」という取り組みとネットリテラシーが重要といえます。

家計相談から生活困窮者自立支援事業への飛躍！ ～ 八千代市とともに実現する福祉総合相談窓口のご紹介 ～

生活・仕事・自立相談窓口 しえん
所長 長野昭彦

はじめに

2025年4月1日、千葉県八千代市に新しい福祉総合相談窓口が誕生しました。一般社団法人NTSセーフティ家計総合研究所（東京都港区）が運営する「生活・仕事・自立の相談窓口 しえん（以下、「しえん」といいます）」です。昨年12月、千葉県八千代市のプロポーザルにおいて選定されて以来、京成本線八千代台駅近くに事業所を設置し、行政機関をはじめ、社会資源となる団体の皆様と調整を進め「しえん」として開所しました。

3年の受託期間において「しえん」は、生活に困窮している八千代市民（以下、「市民」といいます）の皆様と向き合い、困窮の顕在化に係る調査、伴走を行い、必要な社会資源のご紹介や適切な手段を一緒に考え、最終的に一人でも多くの市民の皆様が生活困窮からの脱却を図ることができるよう、活動してまいります。



「しえん」の業務範囲

「しえん」は、包括的相談支援事業、参加支援事業、自立相談支援事業（住居確保給付金の申請受付窓口を含む）、家計改善支援事業、就労準備支援事業を行っております。

今回は、その事業内容などについてご紹介します。

「包括的相談支援事業」

この事業は、市民の皆様からの生活の問題や悩みや相談に応じるものです。具体的には、市民の皆様が利用できる福祉サービスに関する情報の提供や助言、支援関係機関との連絡調整、高齢者、障がいのある方に対する虐待の防止およびその早期発見のための援助、その他、厚生労働省令で定める各種便宜の提供を行います。

「参加支援事業」

この事業は、市民の皆様と地域で活躍されている企業や団体とのつながり作りに向けた支援を行うものです。こちらは、包括的相談支援事業や後述の自立相談支援事業でご相談をされた方のうち、必要に応じて社会とのつながりに有益と思われるプランを「しえん」が作成し、利用者 と企業や団体のつながりを推進する事業です。

「自立相談支援事業（住居確保給付金の申請受付窓口を含む）」

この事業は、「就労に関する支援」と「住宅の心配事に関する支援」の2つに分かれます。

「就労に関する支援」は、市民の皆様の中で生活にお困りの方に対して主に仕事をすることで解決に向かうと考えられる場合にハローワークへの同行も含めて早期の就職を支援するなど、相談者に寄り添いながらその他の専門機関とも一緒になって自立に向けて取組を推進する事業です。

また、「住宅の心配事に関する支援」については、家賃の滞納や解雇による社員寮からの退去、DVによる避難等を理由として差し迫って住居の確保が困難な方からの相談に応じます。

なお、住居確保給付金の扱いにつきましては、「しえん」で受け付けた相談内容を踏まえ、行政機関が給付の決定を行う仕組みとなっています。



「家計改善支援事業」

この事業は、早期の家計改善による生活の再生を目指すものです。

私どもの母体である一般社団法人NTSセーフティ家計総合研究所において、この9年間、家計カウンセリングを主体として活動してきた実績を活かし、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、自ら家計を管理ができるよう市民の皆様へ寄り添ってきました。その知見等を活かすことはさることながら、「しえん」では、必要な相談支援先や関係機関へのつなぎ、必要に応じて、貸付のあっせん等にも対応しますので、より手厚く市民の皆様と接してまいりたいと考えております。

「就労準備支援事業」

最後に、この事業は、さまざまなご事情から、直ちに就労が困難な方に対して一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行うものです。

長期間にわたりご自宅等で過ごすことにより社会との繋がりを失い、ご自身で生活の立て直しを試みたものの、その一歩が踏み出せない方は少なくありません。「しえん」では、そのような方を対象として、八千代市と連携し、就労支援の準備の段階から伴走し、市民の皆様にもお役に立てる「支援」を行いたいと考えております。

「しえん」に求められること

「しえん」における一番の目的は、「市民の皆様が生活困窮から脱却し、自立した生活を送ることができるように見守ること」です。

それを実現するために、当法人は「しえん」という名称で本事業の取組を推進しますが、この名称は「しえん＝支援」という意味のみで名付けたものではございません。市民、八千代市、関係する社会資源の各団体の皆様、そして私ども、この4者の縁、つまり「4縁＝しえん」の意味も含まれた命名でもあります。

当法人は、この4者の縁「しえん」を大切に、求められた責務を果たすことを通して、信頼を勝ち得て成長してまいりたいと考えております。



活動状況（講師派遣）

【過去5年実績】 ※五十音順・複数回実施を含みます

【教育関係など】

神奈川県立相模田名高等学校
 神田外語大学
 神田女学園高等学校
 潤徳女子高等学校
 女子美術大学付属高等学校
 杉並学院高等学校
 学校法人中越学園中越高等学校
 東京家政大学板橋キャンパス
 東京コミュニケーションアート
 専門学校
 東京都女子美術大学付属高等学校
 東京都立東久留米総合高等学校
 (定時制・株式会社TAP 経由)
 東京都立永山高等学校
 東京都立農業高等学校
 東京都立雪谷高等学校
 (株式会社TAP 経由)
 豊島岡女子学園高等学校

他

【行政機関など】

労働者協同組合労協センター事業団
 いたばしひとり親家庭相談窓口
 佐賀県子ども家庭課
 栃木県庁子ども政策課
 横浜市金沢区能見台ケアプラザ
 横浜市新栄地域ケアプラザ
 横浜市菅田地域ケアプラザ
 横浜市都筑区
 ・いっしょにあ・る・く北山田活動拠点
 ・つづき地域活動ホームくさぶえ
 ・リリーフネットつづき障害者後見的
 支援センター
 横浜市東本郷地域ケアプラザ
 横浜市保土ヶ谷区NPO 法人リロード
 横浜市緑区山下地域ケアプラザ
 よこはま北部ユースプラザ

【その他】

一般社団法人 家の光協会
 一般社団法人 金融財政事情研究会
 中高年事業団 やまて企業組合
 ビズアップ総研株式会社 他

他



ゆきちとA1 (えいいち)
 当法人のマスコットキャラクターです。

【講演／取材のご依頼 ※リモート対応もご用意しております】

講演／取材のご依頼がございましたら、下記URLより、お問い合わせメールに「講演／取材の問い合わせ」とご記載のうえお送りいただくか、下記ご連絡先までお問い合わせください。

【寄付のお願い】

私どもの活動にご賛同いただける方からのご寄付を受付けております。
 詳しくはホームページをご覧ください。

【PR TIMES 掲載】

私どもの広報活動をプレスリリースにて随時配信しております。
 詳しくはホームページをご覧ください。



PR TIMES

生き抜く力 2025.05 No.16

《編集・発行・ご連絡先》

一般社団法人 NTSセーフティ家計総合研究所 (担当：北村)
 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル3階
 TEL (03) 6459-4770 FAX (03) 3457-1630
 URL: <https://nts-safety.com> Mail: nts_kskn@nts-hd.co.jp

